

# ソース・プログラムの印刷の仕方

桂田 祐史

2004年11月16日

C や Java のプログラム、あるいは計算結果の印刷に役立つ情報をまとめておきます。

## 1 ゼミの資料の印刷

- 日付を忘れずに。名前も忘れずに。コピーの前に深呼吸して見直す。
- 複数枚になる場合は、ページ番号をふって、ホチキスなどでとじる。とじる場合、横書きのものは左側をとじることを間違えずに。
- プログラムの名前や印刷日時も可能な限り自動的につける。  
(プログラムの名前はいい加減なものにしないこと)
- プログラムの先頭部分に注釈でどういうプログラムか記述しておくとう便利。

## 2 a2ps

a2ps コマンドは自動的にページ番号、ファイル名、印刷日時を付けてくれるので便利です。

以下 heat.c というファイルを印刷する仕方をご紹介します。

6701 号室のプリンターに印刷

```
oyabun% a2ps -p heat.c | lp
```

6701 号室のプリンターに両面印刷

```
oyabun% a2ps -p heat.c | double | lp
```

6Fの数学科資料室のプリンターに両面印刷

```
oyabun% a2ps -p heat.c | double | lp -dmlp6607
```

### 3 ノートパソコンから

大学にいて無線でネットワークにつながっているときは、a2ps, lpr を用いて印刷することを勧めます。

```
mathpc% a2ps -p Wave1d.java | double | lpr -Plp2
```

```
mathpc% a2ps -p Wave1d.java | double | lpr -Pmlp6607
```

a2ps, double はスクリプトなので、コピーすれば動きます。/usr/local/binなどにコピーすることを勧めます。

<http://nalab.mind.meiji.ac.jp/~mk/labo/dist/a2ps>

<http://nalab.mind.meiji.ac.jp/~mk/labo/dist/double>

lpr.exe, lprm.exe, lpq.exe は、

『UNIX Windows ネットワーキング』  
(<http://www.cityfujisawa.ne.jp/~odagiri/>)

から入手できます。